

## Story of Senpai's Experience

氏名 / Name	田中 樹 (Mr. Itsuki Tanaka)
学部 / College	APS
参加プログラム / Program	Old Dominion University – Externship Studies Practicum (ESP) 3-month Program
参加時期 / Program period	2015 年 3 月-5 月 / March – May, 2015
エクスターンシップ先 / Externship Host Organization	Virginia Arts Festival (イベント企画、運営)

ESP プログラムとは、APU 協定校である Old Dominion University (アメリカ バージニア州)の大学付属英語学校 English learning Center にて英語集中プログラムに参加後、大学周辺地域でエクスターンシップ\*に取り組むプログラムである。

私はもともと海外プログラムに興味を持っていたが、主に派遣先大学のキャンパスで語学力を発揮する交換留学プログラムに対して、学校という場に限定されず、より幅広い社会経験ができるこのプログラムに大きな魅力を感じて応募することにした。また、学生だけではない幅広い年齢層からなるネイティブ・スピーカーの英語の世界に浸かり、自分の英語力を試してみたかったのも理由の一つだ。そしてまた、アメリカの地でエクスターンシップ実習ができるというのがこのプログラムの一番の魅力である。

エクスターンシップの派遣先は、自分が希望する業界やフィールドを提出し、それを基に受け入れ企業・団体とマッチングされるというものだった。私は観光学を専攻しているので、ホスピタリティ業界を希望し、結果、「Virginia Arts Festival」というイベント会社に派遣されることになった。会社では、主催するイベントの会場セッティングや、そのイベントにおけるゲストやVIPの方々への対応の他、電話対応や大量のデータ入力、また RSVP のチェックとそれらへの返信等のデスクワークも行うなど、様々な業務を体験させてもらうことができた。最初は自分が希望するホスピタリティ業界のイメージとは異なる派遣先に若干戸惑いもしたが、自分の未知の世界を見ることができると、また、新たな視野が広がる可能性を感じ、一所懸命取り組んだ。結果、イベント業界の「ホスピタリティ提供者」としての一面を学び知るに至り、貴重な経験となった。このように、必ずしも自分の希望とぴったり合致した業界へ派遣されるとは限らないし、希望業界での実習が叶ったとしても、自分がやりたいと考えていた業務ができるとは限らない。そういう環境の中で自分が求めるものを達成・獲得するため、頼まれた仕事の他にも何か仕事がないかメンターに積極的にアピールしたり、周りの状況を見ながら手助けをしたり、また、メンターに言われなくても依頼内容に関連した業務には自ら率先して取り組んだりしてやる気を行動で示した。とにかく、自分自身の力で、自らの英語力やコミュニケーション能力をアピールし、自ら行動に移すことが重要で、このことは、このプログラムに参加して学んだ最も重要なことの一つである。

エクスターンシップは、「Job Shadowing」とも呼ばれるように、メンターや同僚のすることを真似たりすることであるが、与えられたものをただこなすのではなく、自分から課題を見つけ自分なりに

取り組んでいく必要がある。私は、このプログラムに参加して様々な貴重体験をすることができたが、このプログラムに参加すれば誰でも自動的にそのような経験が出来るわけではない。自ら切り開いていく力が試され、それを乗り越える意欲がある人は、是非このプログラムに参加して欲しい。反対に、このプログラムに参加すれば、自分が望む経験が全てお膳立てされていることを望む人には決してお薦めしない。

エクスターンシップ実習は正味3週間。ひとつでも多くの学びを獲得するには、失敗を恐れず、自分から前に進む精神力が大切であることを身に沁みて学ぶことができた。今回のプログラムでの経験は、今後将来の方向性を決める際に大きな指針となってくれと確信している。